

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

埼玉県深谷市

自治体名：埼玉県深谷市教育委員会

担当課名：学校教育課

電話番号：048-572-9578

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	138km ²
人口	140,211人
公立中学校数	10校
公立中学校生徒数	3,432人
部活動数 (運動部活動のみ)	106部活
地域クラブ活動数	7クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

深谷市の現状としては、国や埼玉県と同様、少子化がもたらす教育活動への影響が大きな課題となっている。平成18年の深谷市合併時と令和7年度の中学校の生徒数を比較すると、1,033人も減少している現状があり、生徒数の減少を踏まえた教育活動の在り方が課題となっている。

そのような中で、生徒数の減少に伴い、教員数も減少することから、学校部活動を進めていく上で、今までどおりの部活動数を維持することが困難となっており、部活動の安全な実施と教員の負担軽減を踏まえ、計画的に部活動数を削減し、数の適正化を図っていくことも取組むべき喫緊の課題となっている。

そこで、本市においては、県の方針を参酌しながら、「①部活動数の適正化と部活動時間の工夫」と「②休日の活動における地域連携の検討」の2つの柱を据え、学校教育全般に渡っての総合的な取組を進めながら、部活動改革に取り組んでいく。

豊かなスポーツ・文化芸術活動を目指して（中学校）

今年度、深谷市教育委員会及び深谷市立中学校では、中学生の豊かなスポーツ・文化芸術活動を実現していくために、中学校の部活動を**2つの柱**で改革していきます。

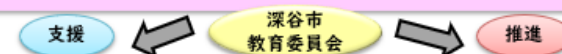
(経緯は「こころざし第56号」R4.10発行 参照)

① 部活動数の適正化・部活動時間の工夫

② 休日のスポーツ・文化芸術活動における地域連携の在り方についての検討

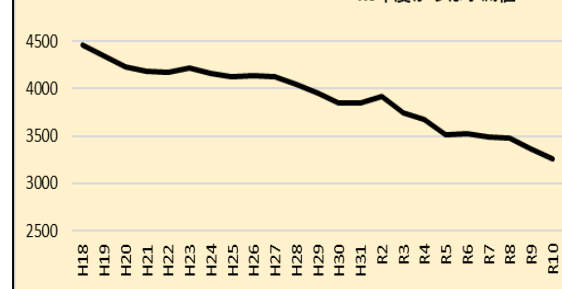
【現状】少子化による生徒数の減少 → 教職員数の減少 → 部活動数の維持が困難

⇒ 学校と地域の連携・協働により、生徒の豊かなスポーツ・文化芸術活動を実現する必要がある。



深谷市立中学校生徒数の推移

R6年度からは予測値

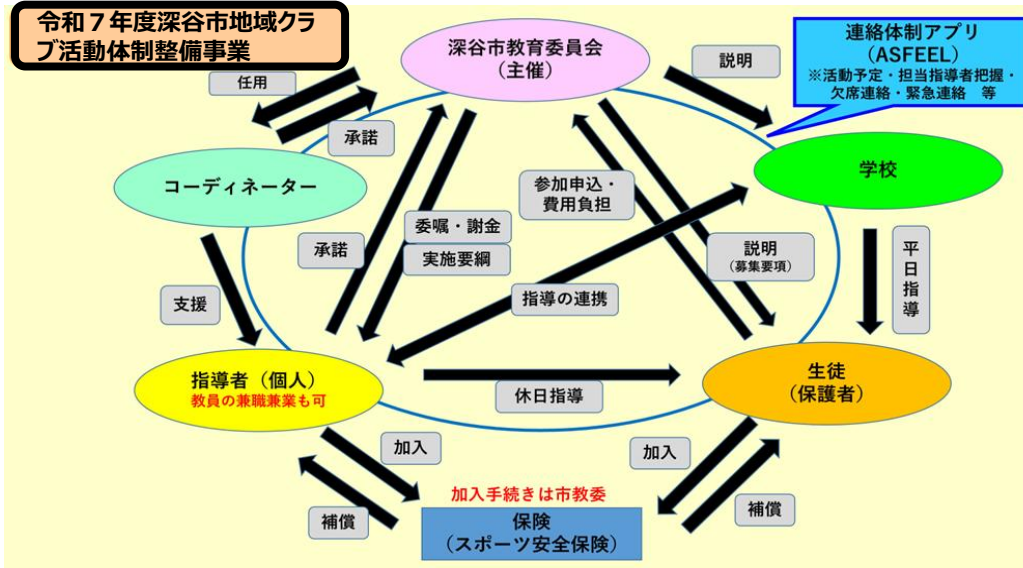


深谷市教育委員会だより「こころざし」第60号より（令和5年10月）

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会(学校教育課)

- 本事業において必要な体制を整備するとともに、検討委員会を開催する。また、実施団体(指導者)やコーディネーター、学校(顧問)と連携を図りながら、事業を進める。

◎首長部局(財政課)

- 本事業において必要な予算を確保する。

◎コーディネーター

- 各地域クラブ活動の巡回だけでなく、検討委員会の運営や各学校との連絡・調整、指導者の指導実績の集計等、事務的な業務も行い、事業が円滑に進むように調整を行う。

年間の事業スケジュール

令和7年5月	(総括) コーディネーターの任用、第1回検討委員会の開催
令和7年6月	協力可能団体の募集、中学校長への説明
令和7年7月	実証事業実施部及び指導者の決定
令和7年8月	第2回検討委員会の開催、保護者説明、参加希望調査、保険への加入手続き
令和7年9月	実証事業の開始、参加費の徴収、コーディネーターによる巡回
令和7年12月	第3回検討委員会の開催
令和8年2月	実証事業終了、第4回検討委員会の開催

2.実証内容と成果

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		7クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）	7クラブ（7部活動）	
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数	0クラブ	
全体の指導者数	42人	全体の運営スタッフ数	42人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
深谷市地域クラブ活動	教育委員会	卓球	月4回程度 （年20回）	土曜日 8:30～11:30	1年：17人 2年：17人	9月～1月	当該中学校体育館	9人	9人	1回200円 保険料800円	中体連：部活動
深谷市地域クラブ活動	教育委員会	剣道	月4回程度 （年20回）	土曜日 8:30～11:30	2年：4人	9月～1月	当該中学校体育館	4人	4人	1回200円 保険料800円	中体連：部活動
深谷市地域クラブ活動	教育委員会	ラグビー	月4回程度 （年20回）	土曜日 15:00～18:00	2年：1人	9月～1月	団体保有施設（ラグビー場）	5人	5人	1回200円 保険料800円	中体連：部活動
深谷市地域クラブ活動	教育委員会	バドミントン	月4回程度 （年20回）	土曜日 13:00～16:00	1年：5人 2年：4人	9月～1月	当該中学校体育館	9人	9人	1回200円 保険料800円	中体連：部活動
深谷市地域クラブ活動	教育委員会	ソフトテニス	月4回程度 （年20回）	土曜日 8:30～11:30	1年：21人 2年：16人 3年：3人	9月～1月	当該中学校校庭	9人	9人	1回200円 保険料800円	中体連：部活動
深谷市地域クラブ活動	教育委員会	野球	月4回程度 （年20回）	土曜日 8:30～11:30	1年：11人 2年：9人	9月～1月	当該中学校校庭	3人	3人	1回200円 保険料800円	中体連：部活動

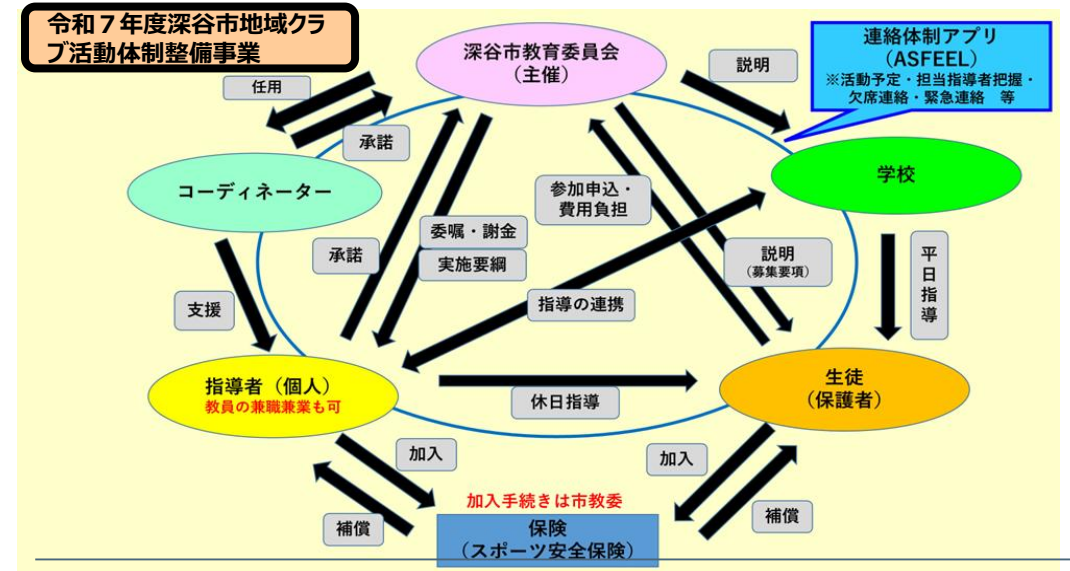
2.実証内容と成果

主な取組例

● 深谷市地域クラブ活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	卓球、剣道、ラグビー、バドミントン、ソフトテニス、野球
運営団体名	深谷市地域クラブ活動
期間と日数	9月～1月 月4回程度
指導者の主な属性	地域スポーツ団体・総合型スポーツクラブ・教員
活動場所	学校施設及び総合型地域スポーツクラブ 保有施設、公民館
主な移動手段	自転車、徒歩、保護者の判断で自家用車
1人あたりの参加会費等 (年額)	全活動 200円(参加費)×活動日数 +保険料(800円)
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

● 地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



● 指導者や運営スタッフ等の役割分担等

- 総括コーディネーター1名 ・ コーディネーター1名
役割：地域クラブ活動を円滑に進めていくための学校及び関係団体との連絡調整やマッチング、地域クラブ活動検討委員会等の運営、指導者の確保等を行う。また、地域クラブ活動の活動開始後は、指導者の活動記録の整理、参加費の徴収、各活動場所において指導が安全かつ適切に行われているか、参加生徒に困り感はないか等の巡回指導を行う。
- 指導者42名
役割：各種目の技術指導をととして、生徒の健全育成を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- ・本事業を進めていく上で、様々な関係者から意見を聞きながら進めるために、「深谷市 地域クラブ活動検討委員会」を設置し、計4回の協議会を実施した。
- ・総括コーディネーター及びコーディネーターを会計年度任用職員として任用し、活動が円滑に進むように体制を整備した。
- ・連絡ツールとして、ASFEEL株式会社の「部活アプリ」を活用することで、事務局・総括コーディネーター・指導者・保護者の連絡体制を整えた。

今後の取組における課題

- ・教育委員会が運営団体になることは、業務量的に大きな課題がある。

課題への対応方針

- ・今年度は、総括コーディネーター及びコーディネーターを新たに会計年度任用職員として任用し、事務的な業務にも従事してもらったが、事業拡大のためには、さらなる運営体制の整備が必要である。

取組の成果

- ・深谷市のスポーツ・文化団体の代表者や学校関係の代表者で組織された、「深谷市地域クラブ活動検討委員会」を立ち上げ、計4回の協議会を実施することで、関係する方々の協力や理解を得ながら進めることができた。また、長期的な視野で、今後、深谷市の部活動をどのように実施していくのかといった内容についても検討を進めることができた。
- ・総括コーディネーター及びコーディネーターが活動の様子を巡回し、指導等において指導者に助言しながら、活動を進めることができた。
- ・連絡ツールとして「部活アプリ」を活用することで、個人情報のやりとりをすることなく、関係者間での連絡体制を整えることができた。また、アンケートの実施等、事務局からの連絡もアプリを活用して周知することができた。

【総括コーディネーター及びコーディネーター】

- ・地域クラブ活動を円滑に進めていくための学校及び関係団体との連絡調整やマッチング、地域クラブ活動検討委員会等の運営、指導者の確保等を行った。また、地域クラブ活動の活動開始後は、指導者の活動記録の整理、参加費の徴収、各活動場所において指導が安全かつ適切に行われているか、参加生徒に困り感はないか等の巡回指導を行った。（活動開始前：週2日勤務 活動開始後：週3日勤務）

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

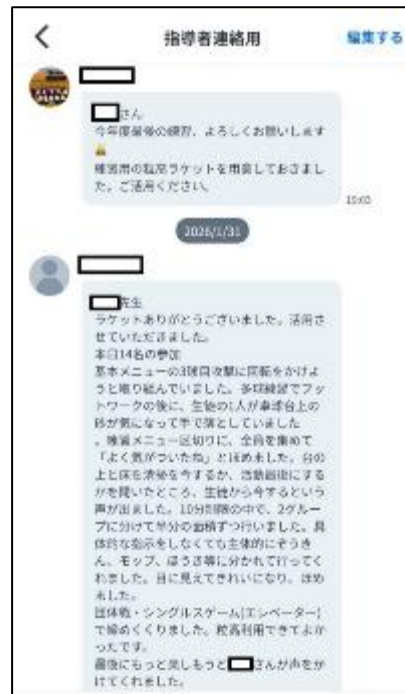


取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

- 参加者の出欠、活動の実施報告を円滑に行っていくために、コミュニケーションアプリ「部活アプリ」を活用した。
- アプリには、事務局、指導者、保護者、コーディネーターが登録し、随時連絡を取り合うことで、連携することができた。



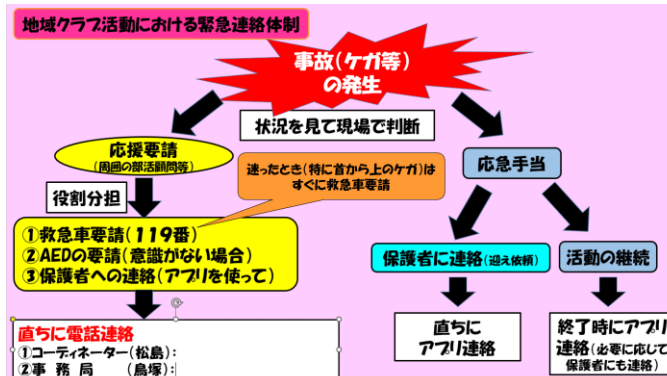
出典 部活アプリクラブマネージャーHPより

地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

- 活動時に事故やトラブルが発生した際の対応手順について示した資料を、各活動に配付している救急バッグに取り付けることで、現場の指導者が適切に対応できるように周知している。
- ・コーディネーターの緊急連絡先も記載することにより緊急事態に速やかに学校への連絡がとれる。

深谷市地域クラブ活動 指導における留意事項

- ① 出欠確認**
※ 欠席等の連絡がないまま、時間に来ていない生徒の保護者にはアプリで確認をお願いします。
- ② 活動前に生徒の健康確認**
※ 体調不良の者がいた場合は、保護者に連絡の上、帰宅させてください。
- ③ 事故が起きたときの対応**
※ 活動中に事故等が起きたときは、裏面の「緊急連絡体制」を参照し、初期対応をお願いします。
- ④ 施設・設備等の管理**
※ 使用した施設・設備等は、確実に原状復帰をお願いします。特に施設の施設については、確認をお願いします。
- ⑤ 終了報告**
※ その日の指導者代表は、活動が終了したらアプリの「指導者」グループで、終了報告をお願いします。その際、当日の全指導者の報告をお願いします。（参加生徒が無事帰宅したかということも配慮してください）
- ⑥ 活動日報の記載・提出**
※ 毎日、活動日報の記載をお願いします。指導者名は、指導した本人による自署をお願いします。「特記事項」には、生徒のケガや施設の設備等の情報を記載してください。
※ 活動日報は、翌月の5日までに、代表者が事務局に提出してください。（原本、またはPDFにしてメールで送付）



出典
深谷市地域クラブ
活動留意事項

出典 深谷市地域クラブ活動緊急連絡体制フローチャート

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

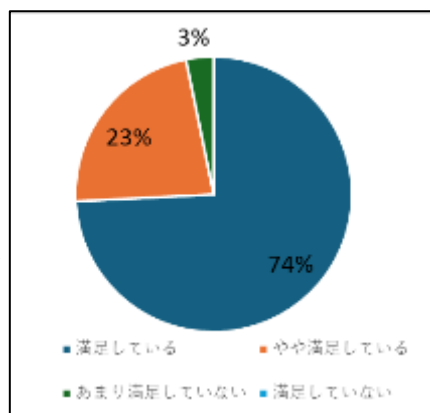
●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保／ ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項（イ）

- 指導者の質を確保するために、指導者の応募条件として「指導資格を有すること、または、1年以上児童生徒への指導経験があること」とした。
- 指導者の量を確保するために、深谷市スポーツ協会及び総合型地域スポーツクラブ代表者と連携を取るほか、学校への周知活動を行った。

取組の成果（イ）

- 参加した中学生を対象としたアンケート（グラフ1）では、「地域クラブ活動に満足したか」という質問に対し、回答者97%が「満足している」「やや満足している」と答えた。その理由として、「技術等の細かいところを教えてくれるから」「教え方が上手で分かりやすかった」といった意見があった。



グラフ1 生徒アンケートより

今後の取組における課題（イ）

- 今後事業が拡大し、多くの指導者が生徒の指導に携わることになると、指導者の質の確保・向上が課題となる。

課題への対応方針（イ）

- 市として指導者の質を確保・向上するために、研修会等の実施を検討していく。

取組事項（ウ）

- 指導者の確保や施設の利用について、市スポーツ関係団体や学校等と、連携を強化した。
- 指導者の派遣について、深谷市スポーツ協会及び総合型地域スポーツクラブの協力を得た。

取組の成果（ウ）

- 校長会等で、各中学校長に十分な理解を求めることで、活動するための場所については、学校を基本とし、問題なく確保することができた。
- より広いスペースを求め、公民館でも活動を行った。その際は、教育委員会の取組として、減免での利用が可能となった。

卓球（岡部中） 生徒：32名 指導者：9名	顧問2名を含めた、指導者9名が指導のローテーションを組み、1回につき3名程度で指導に当たっている。
剣道（川本中） 生徒：4名 指導者：3名	専門的な指導力を有する指導者が中心となり、顧問とともに指導を行っている。顧問も指導方法を学ぶことができる。
ラグビー（南中） 生徒：1名 指導者：5名	団体保有施設を使い、総合型地域スポーツクラブの指導者が、クラブに所属している生徒を含めて指導している。
バドミントン（豊里中） 生徒：9名 指導者：5名	外部指導者として携わってきた指導者が中心となって指導を行ったため、平日の練習と指導が一貫した取組となっている。
ソフトテニス（豊里中） 生徒：4名 指導者：8名	顧問の教え子が地域の指導者として、顧問とともに指導に当たることで、今後地域で指導できる体制を整備している。
ソフトテニス（南中） 生徒：40名 指導者：8名	顧問3名を含めた計8名の指導者が指導に携わっているため、個に応じた技術指導等、充実した活動が展開されている。
野球（幡羅中） 生徒：20名 指導者：3名	顧問とともに、善段から部活動指導に参加している外部指導者が指導に加わり、より充実した活動が可能となっている。

今後の取組における課題（ウ）

- 今後事業を拡大していくことになると、さらに様々な団体との連携を図っていくことが必要となる。

課題への対応方針（ウ）

- 今年度の事業について、広く周知する機会を確保し、協力を得ていくようにする。

各中学校への取組周知のための資料

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等 / キ：学校施設の活用等

取組事項（カ）

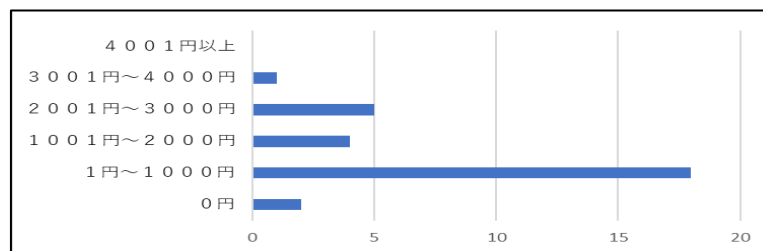
- 本事業の趣旨を保護者に説明し、一定程度、受益者負担とした。
全活動一律：200円（参加費）×活動日数+保険料（800円）
- 地域クラブに参加する困窮世帯に対して、必要な経費を支援した。

取組の成果（カ）

- 保護者会を開催し、丁寧な説明を行うことで、受益者負担額を増額させた。（負担額については令和5年度のアンケートをもとに決定）結果として、参加費徴収を理由に、活動に参加しなかった生徒はいなかった。
- 就学援助世帯に対しては、活動費は徴収しない措置をとった。その結果、活動費を理由とした活動への不参加生徒はいなかった。

グラフ2

保護者アンケートより



今後の取組における課題（カ）

- 今後の持続可能性を考えると、少しずつ受益者負担の額を上げていく必要がある。

課題への対応方針（カ）

- 今後も保護者のアンケートを参考にしながら、検討していく。また、就学援助世帯に対しては、引き続き参加費の一部免除等の措置を講じていく。

取組事項（キ）

- 今年度実施した7活動のうち6活動は当該学校の体育館・校庭での活動を基本とした。また、備品については、学校の備品を使用した。
- ラグビーについては、総合型地域スポーツクラブの保有施設を活用したが、総合型地域スポーツクラブと合同での使用のため無償で使用できた。
- 体育館を使用した3活動における鍵の借用方法については、各校と連携し校長の判断でそれぞれ対応した。

取組の成果（キ）

- 使用した施設や備品等に、何か問題があった時はすぐに事務局に報告できるように、連絡体制を確保した。
- 今年度は市立中学校のエアコン設置工事のため、一定期間体育館が使えないことがあったため、公民館や他校等、代替施設を使用した。保護者に送迎を依頼することもあったが、特に混乱はなかった。

今後の取組における課題（キ）

- 体育館での活動の場合、他部活が練習試合等を行うと、活動ができなくなってしまう可能性が考えられる。

課題への対応方針（キ）

- 活動開始前から、わかる範囲で計画的に活動場所を確保していく必要がある。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和5年度の③活動、令和6年度の⑤活動から今年度は7活動に規模を拡大したが、円滑に実証事業を行うことができた。また、実証開始時期も昨年度と比較すると1か月程度早く開始することができ、活動体制づくり等で前年度の成果が十分に生かされたと考える。

また、今年度も事業拡大につき、総括コーディネーター及びコーディネーターを会計年度任用職員として、5月から2月まで任用した。活動の巡回だけではなく、学校及び関係団体との連絡調整やマッチング、地域クラブ活動検討委員会等の運営、指導者の確保等の事務事業にも従事してもらうことで、教育委員会の負担軽減にもつながった。

受益者負担については、一昨年度の保護者アンケートをもとに、昨年度と同等の額を負担してもらったが、補助金があるために設定できる額である。今後、負担額を上げていく必要はあると考えるが、そのためには、「部活動との違い」や「受益者負担の必要性」について、保護者や生徒に十分周知していく必要がある。不平等感を生まない活動にできるよう、今後も行い方の検討を進めていく。

この3年間の実証で得てきた成果や課題を踏まえ、市としても長期的な視野で、部活動の在り方を検討することができた。今後の方向性を、広く周知していくとともに、円滑な移行のために、次年度以降も準備を進めていく。

●成果の評価

- ・ 参加している生徒の満足度が高く、充実した活動が展開できた。
- ・ 様々な地域の指導者が指導に携わることにより、地域の大人に対して、スポーツを通して敬意をもった振る舞いが身についた。
- ・ 連絡アプリを活用し、指導者同士が綿密に指導日の調整を図りながら、指導予定を立てられた。活動内容についても中心となる指導者からこまめな情報が発信され、情報や指導の共有化が図られた。
- ・ 活動によっては、若い方も指導者登録をし、ベテランの指導者とともに指導を行うことで、活動を持続可能なものにしていく体制づくりが図られた。
- ・ 長期的な視野で、本市の部活動の地域展開について、検討を進めることができた。

●今後に向けて

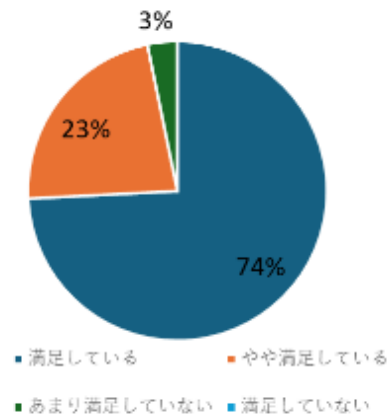
- ・ 継続的に定着して参加していただける指導者を確保していく必要がある。
- ・ 地域クラブ活動の広がりによって、中学生のスポーツ・文化活動がどのように変わっていくのか、イメージを共有していく必要がある。（教職員、保護者を含めた地域住民に対して）
- ・ 人件費を含めた地域クラブ活動の財源の見通しを考えていく必要がある。（保護者の経済的負担を最小限に抑えるための手立てを含めて）
- ・ 本市における部活動の地域展開について、広く周知を図り、理解促進をしていく。

2.実証内容と成果②

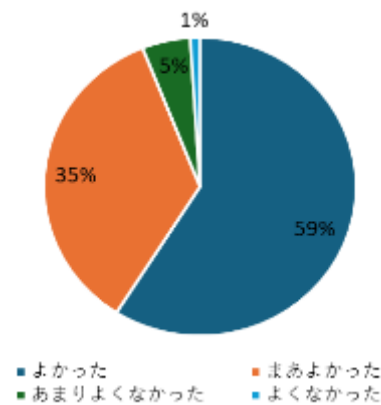
アンケート結果・参加者/関係者の声

●アンケート結果

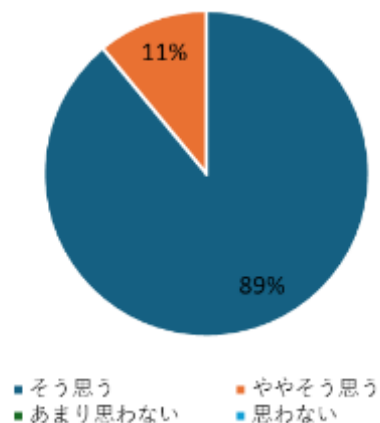
Q.地域クラブ活動に満足していますか？
(参加生徒アンケートより)



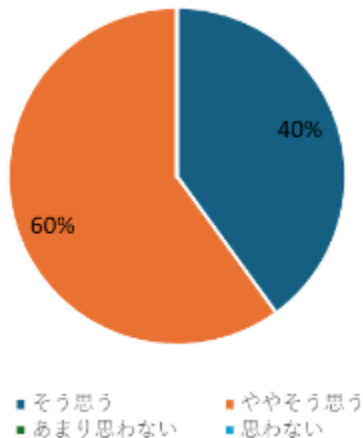
Q.地域クラブに参加して、どのような感想をもちましたか？ (参加保護者アンケートより)



Q. 今後も地域クラブ活動の指導者として従事したいと思いますか？ (指導者アンケートより)



Q.実証事業に参加してよかったと思いますか？ (顧問アンケートより)



●参加者/関係者の声

生徒

- 地域の指導者による説明がとても分かりやすかった。
- 色々なコーチに教えてもらって、自分の技術が上達してよかった。
- 普段の部活ではできない経験がたくさんできてよかった。

保護者

- 顧問の先生とは異なる視点で、改善点を指摘してもらって、子供が満足感を得ていた。
- 部活だけでは得られない知識や技術を得られる機会があるのは有り難かった。

指導者

- 地域クラブ活動に従事したことで、子供たちが上達し、それを喜んでいる様子が見られてよかった。
- 自分も持っている技術やコツを教えることで、競技を好きになってくれる子供が増えるといい。

顧問

- 休日に休める日が増えた。技術指導を丁寧に行ってくれるため、精神的にも負担が減った。
- 他校との練習試合は顧問が調整しているので、その面での負担は以前と変わらない。

2.実証内容と成果③

参考資料



専門的な指導力を有する指導者（剣友会所属）が中心となり、顧問とともに指導を行った。顧問も指導方法を学ぶことができた。近隣の中学校と練成会や合同練習も行った。



団体保有施設を使い、総合型地域スポーツクラブの指導者が、クラブ所属の生徒と一緒に指導している。同クラブには同じ部活の生徒も所属しているので安心して活動できた。



指導者数が充実しているため、参加生徒数が多くても、個に応じた指導が可能となっている。また、男女で分かれて活動する等複数箇所で並行して活動することもできた。



長年指導に当たってきた外部指導者が中心となり、顧問とともに指導に当たったため平日の指導との繋がりが容易であった。公民館や他校での合同練習も行った。



2.実証内容と成果④

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

令和5年～令和7年の3年間で地域クラブ活動（休日）を拡大・充実

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実施 種目数	3活動 (運動種目のみ)	5活動 (運動種目のみ)	7活動 (運動種目のみ)

令和8年～令和10年の3年間で拠点校方式での部活動実施に向けた体制整備

- 深谷市立中学校全生徒にとって、**やりたい活動に取組める環境を整備する。**
- 令和7年度までに実施してきた**地域クラブ活動**を、**拠点校方式**に広げていく。
- 全ての学校において、活動を学校単位から**拠点校（ブロック）単位に切り替えるための準備を進める。**

令和10年新人戦終了後から拠点校方式での部活動実施

